

WINDOWSユーザのためのgopher利用入門

医学部衛生学 三 上 聖 治
munge@cc.hirosaki-u.ac.jp

internetを使って情報を得るには、これまでワークステーションに入ってコマンドを打ち込まなければなりませんでした。最近mouseを使って、どこへでも接続でき、しかもunixなんか覚えなくても簡単に利用できる、仕組みが次々と登場してきました。今回は、主にgopherについて紹介します。

gopherとは、辞書を引くと 1. じねずみ、2. ミネソタ州人とありますから、ミネソタから出たちよろちよろ動き回るシステムぐらいに考えておけば、（なんて書くとどっから苦情が来そうですから）、とは書きません。

何が出来るかと質問には、「世界中にあるgopherサーバに接続して、mouseによる選択や文字入力データベース検索を行い、文字、画像、プログラムやデータを自分の計算機に持ってくる事が出来ます。」と答えればよろしいでしょうか。

MS-WINDOWSのhgopherを紹介します。

材 料

パソコン pc-9801（ハードディスクと拡張メモリは、必須）

MS-DOS, MS-WINDOWS

tcp/ip用ソフトウェア（ドライバの他に telnet や ftp があれば）

0. MS-WINDOWSの前に

カーネルと呼ばれるtcp/ipボードに付属してくるソフトウェアとバケットドライバと言う多分購入しなくてはならないものを常駐させてからMS-WINDOWSを起動してください。

（なんのことかわからない方は近くの達人にセットアップして貰ってください。）

近くの達人のために：セットアップの要点は4つです。

HUBによる10BASE-T接続の場合を例として

HUBのIPアドレスが、133.60.×××.×0であり、

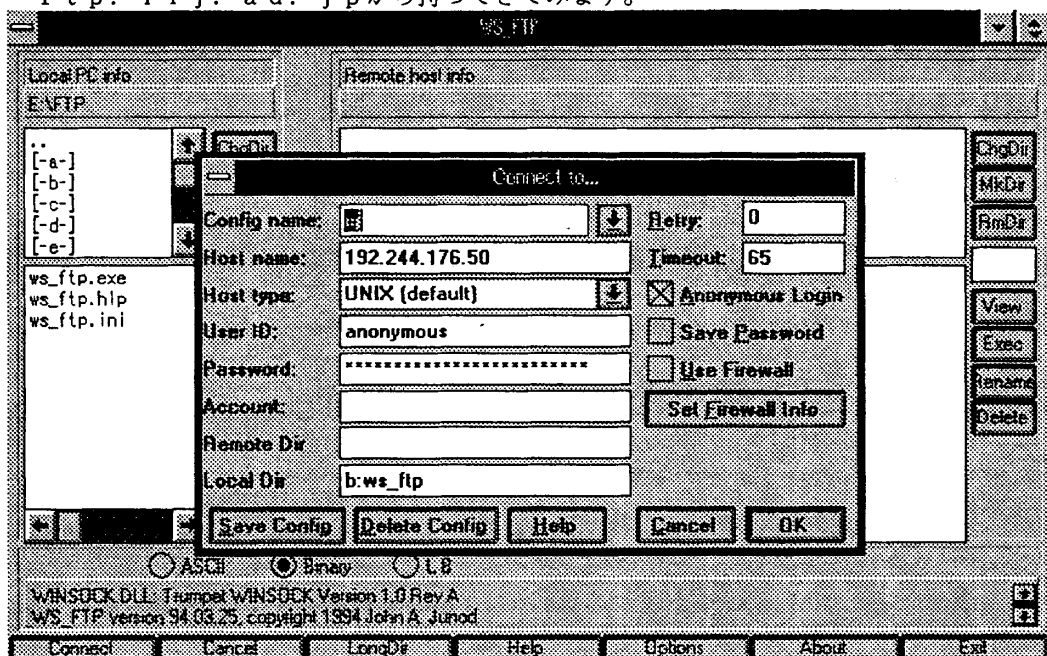
3番目のコネクタに接続する場合は、

1. 自分のIPアドレスは、133.60.×××.×3
2. gateway アドレスは、133.60.×××.1
3. subnet mask は、255.255.255.0
4. name server は、133.60.13.2 と設定します。

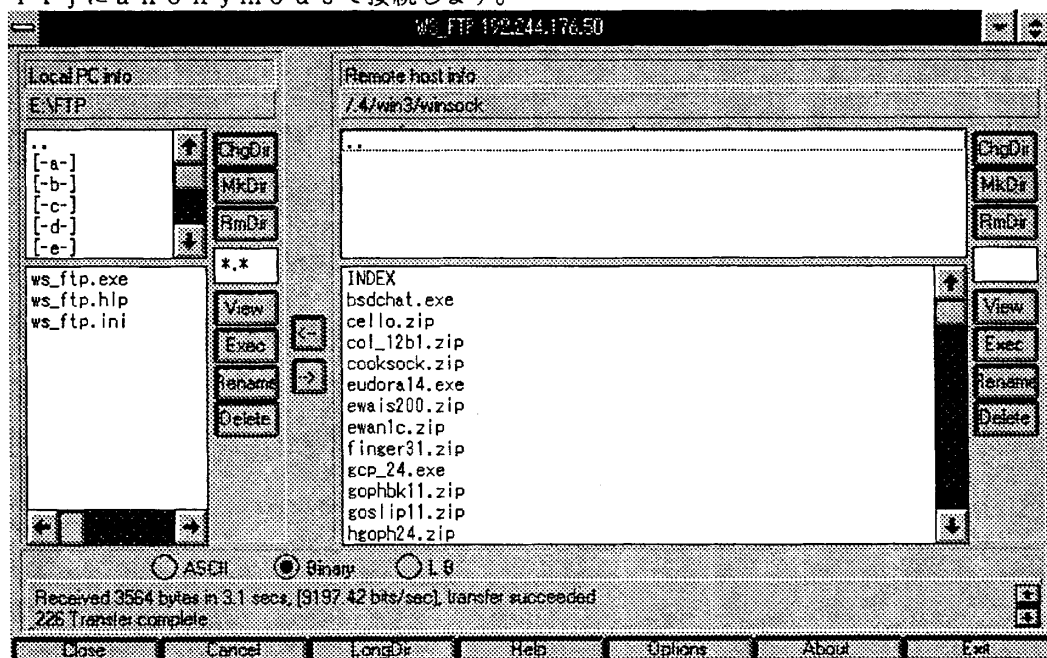
1. MS-WINDOWSを起動したら

ftpを使ってhgopherのプログラムを手に入れます。

ftp.iiij.ad.jpから持ってきてみます。



iiijにanonymousで接続します。



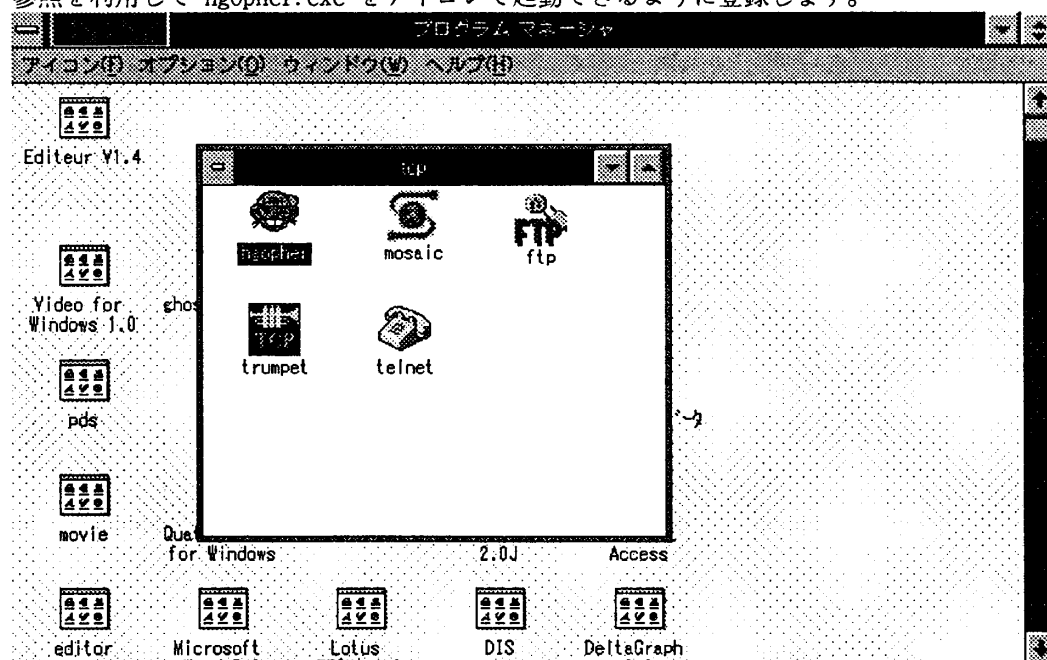
hgopherは、/.4/win3/winsockにhgoph24.zipという名前で収納してあります。

hgoph24.zip をハイライトにして、←で自分のパソコンに持ってこれます。

拡張子（最後の3文字）が zip のものは、凍結されていますから、winzipとか pkunzip などの道具を使って、解凍してください。6つのファイルができます。次にプログラムマネージャを使って、アイコンやグループの登録を行います。



参照を利用して hgopher.exe をアイコンで起動できるように登録します。

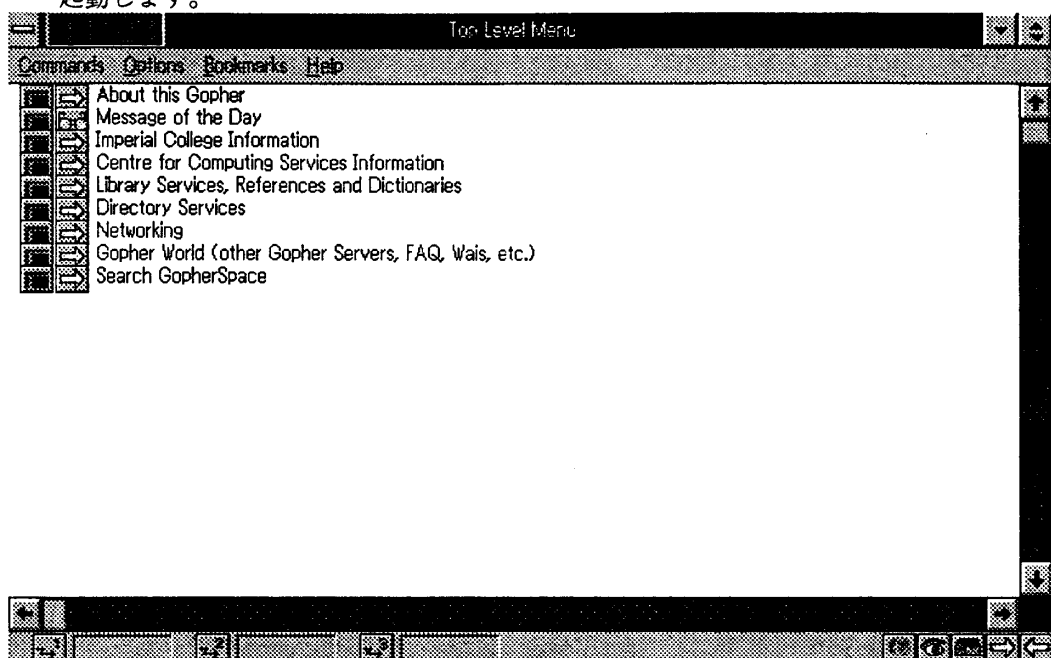


早速マウスを使って hgopher を起動してみます。

2. hgopherの起動

hgopherのアイコンをダブルクリック（人差し指でマウスを2回速く押）して

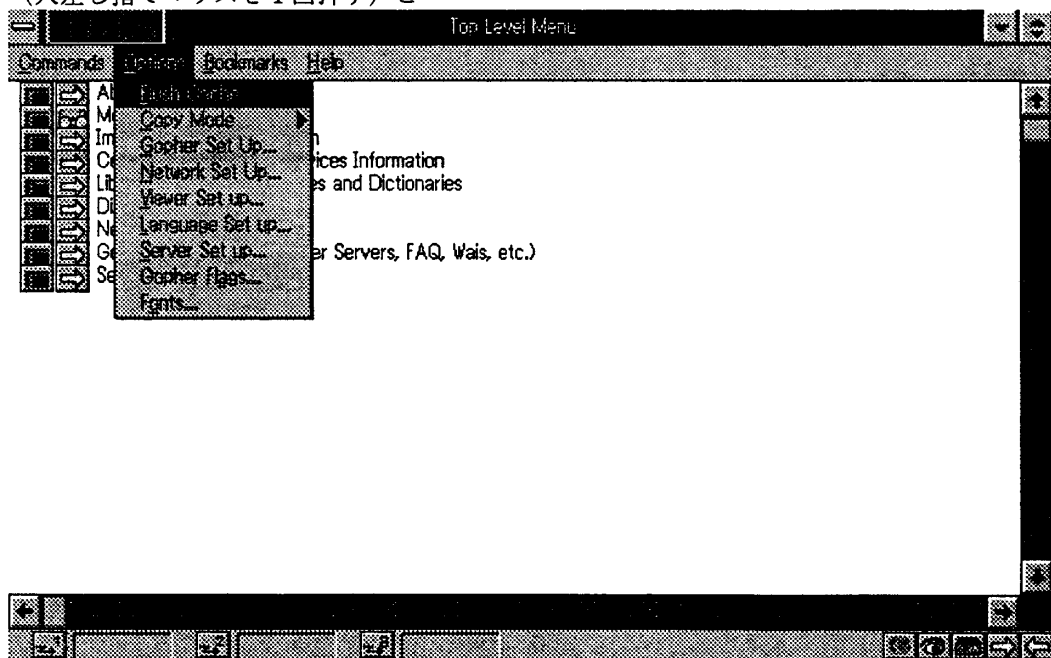
起動します。



うまいこといけば、こんな画面が出て、あれ、どこへ繋がったんだ？

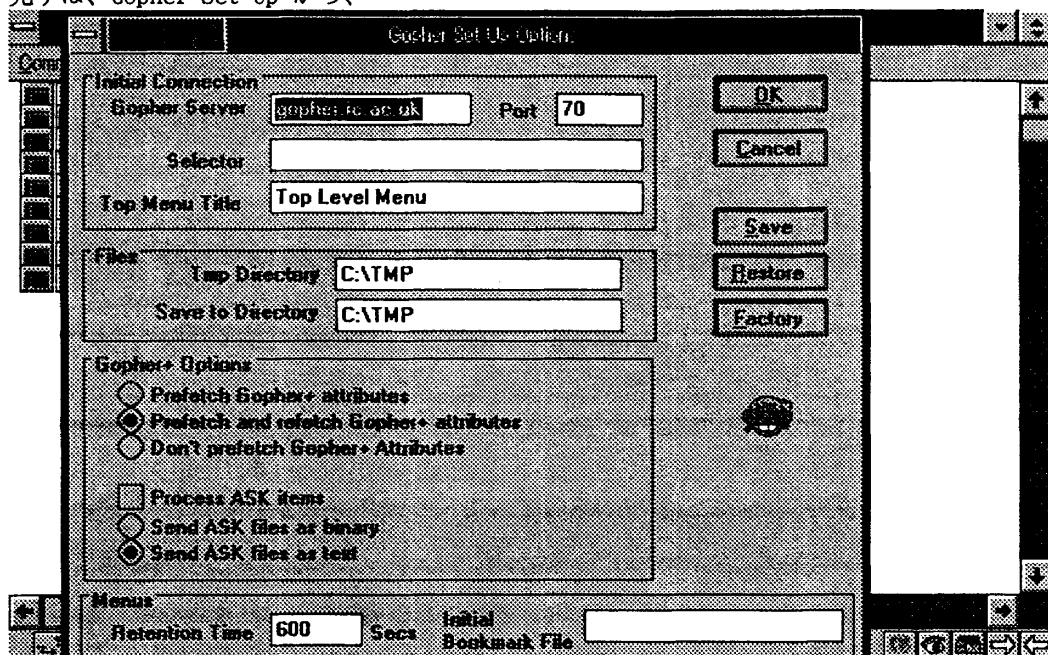
ん、Imperial College？ということになるかもしれませんが、ならなくても心配いりません。まだ、hgopher の設定をなにもしていませんから。

hgopher の設定は画面上の Options で実施します。Options のところをクリックする（人差し指でマウスを1回押す）と

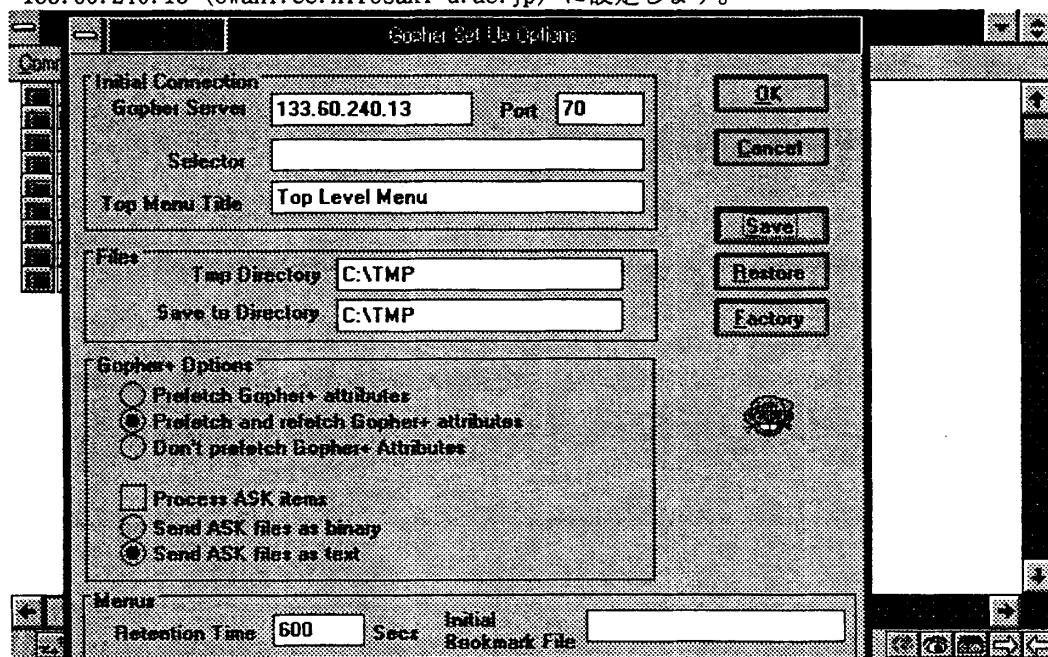


設定画面になります。全部指定する必要はありませんが、Gopher Set Up, Network Set Up, Viewer Set Up については、指定してください。

まずは、Gopher Set Up から、

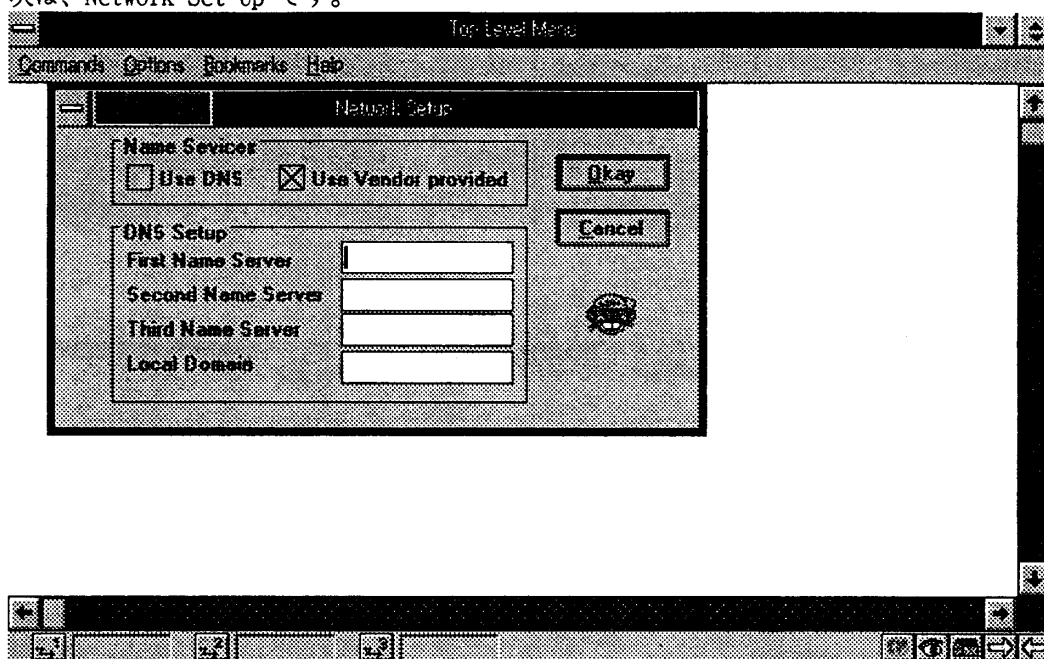


初期設定が、gopher.ic.ac.uk とイギリスになっていましたので、国内の一番近い 133.60.240.13 (owani.cc.hirosaki-u.ac.jp) に設定します。



設定したら、Tmp Directory や Save to Directory も書き換えて Save と OK をクリックします。これで Gopher Set Up は終わりです。

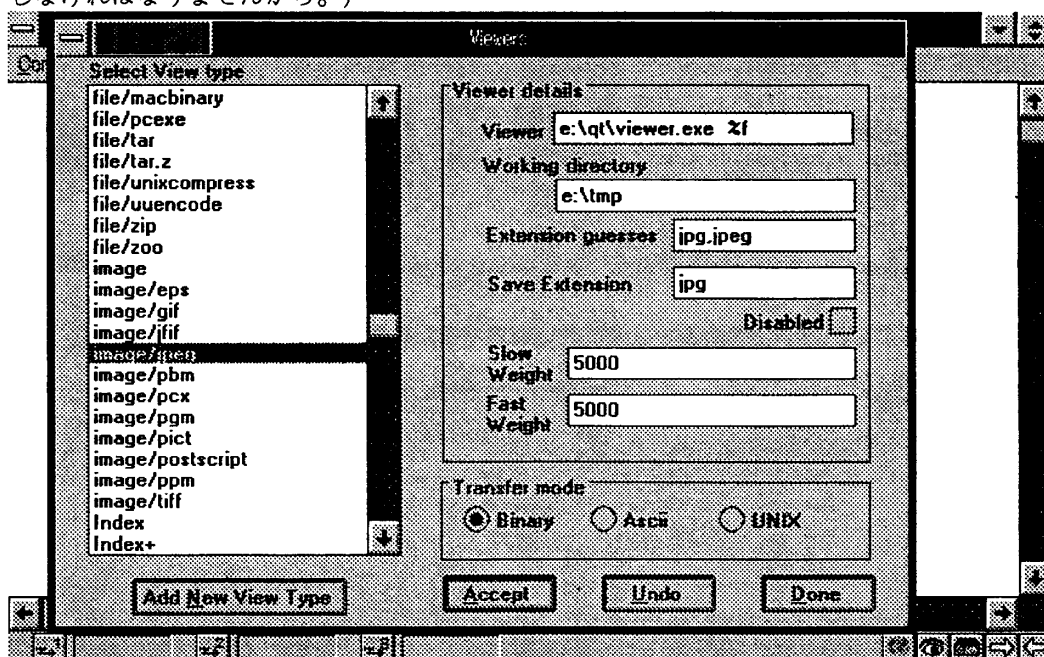
次は、Network Set Up です。



Use Vendor provided にチェックマークを付け、Okay をクリックします。

これでNetwork Set Up は終わりです。

最後は、Viewer Set Up です。（これが面倒かもしれませんが、なにしろ好きなものを設定しなければなりませんから。）

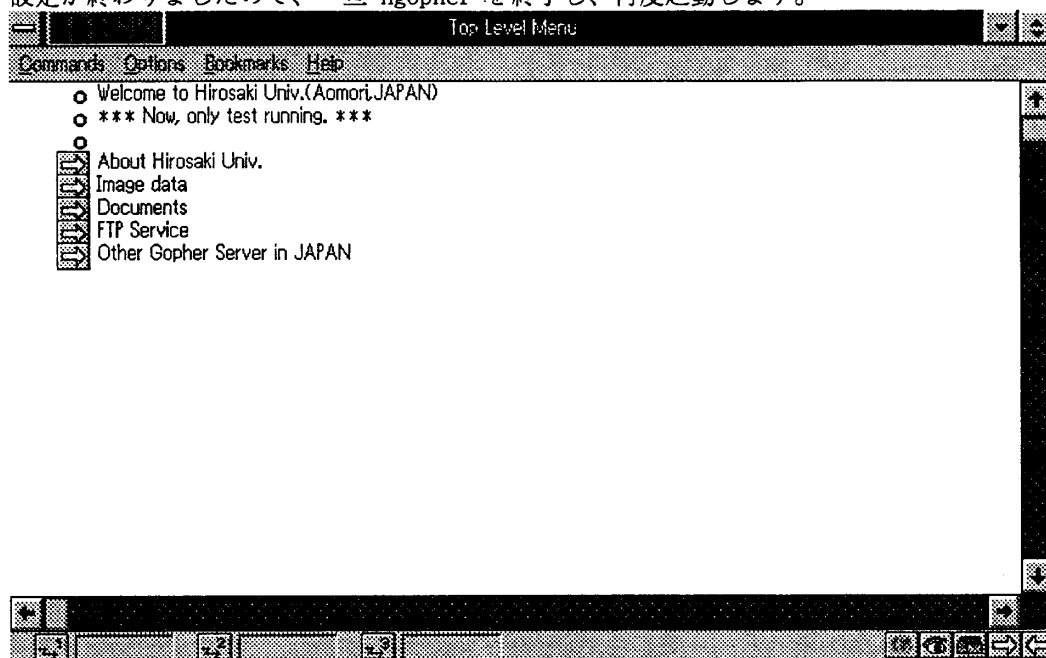


相手方から送られてくる、データの内容によって文字を出力するエディタは、何を使う、画像を表示する道具は、何を用いるといったことを hgopher に覚えさせて、MS-WIN

DOWSで動作するの他のプログラムと紐付きにしなければなりません。

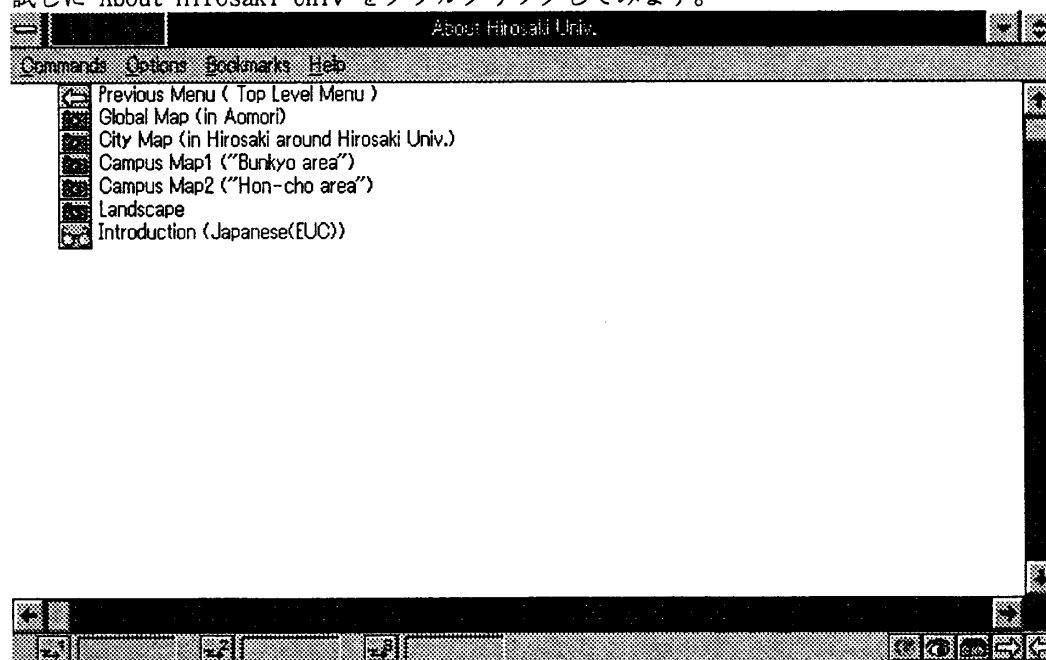
あと1つ、Disabled にチェックマークがある時は、はずしてください。Accept と Done で View Type の設定を保存終了します。

設定が終わりましたので、一旦 hgopher を終了し、再度起動します。

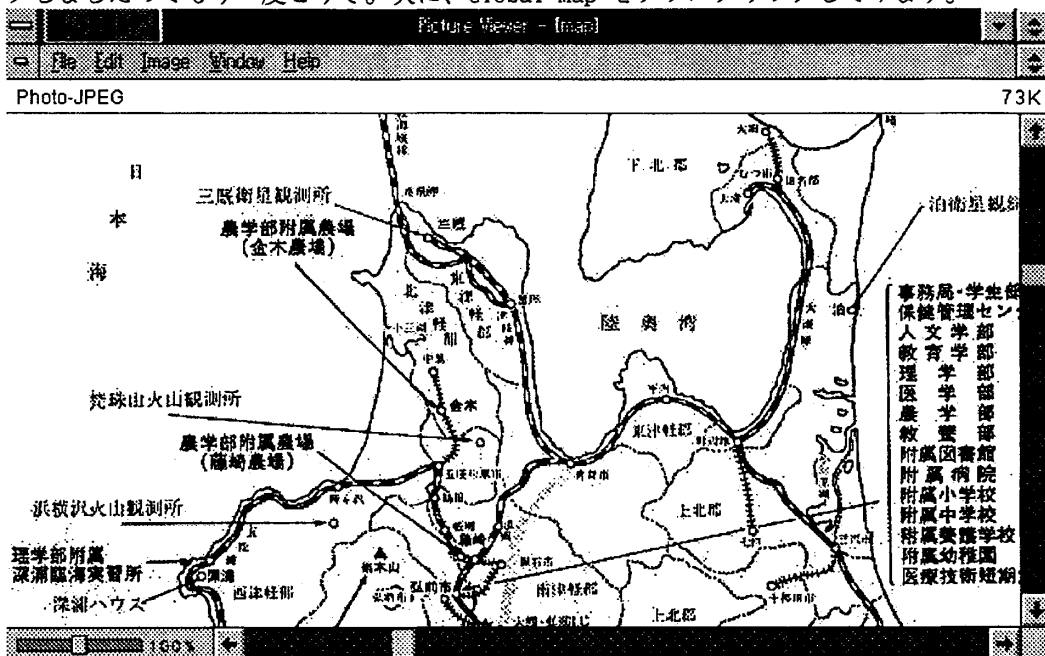


やっと弘前大学の gopher server に接続できました。

試しに About Hirosaki Univ をダブルクリックしてみます。



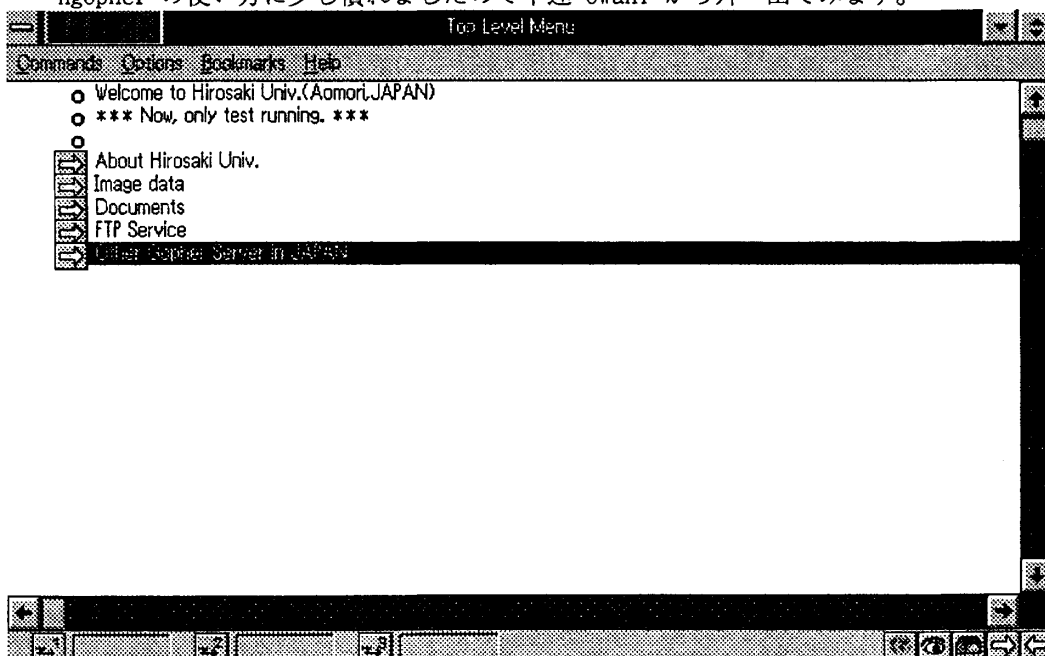
うまく前ページの画面にならなかった方は、ダブルクリックが遅かったか、→ をクリックしましたのでもう一度どうぞ。次に、Global Map をダブルクリックしてみます。



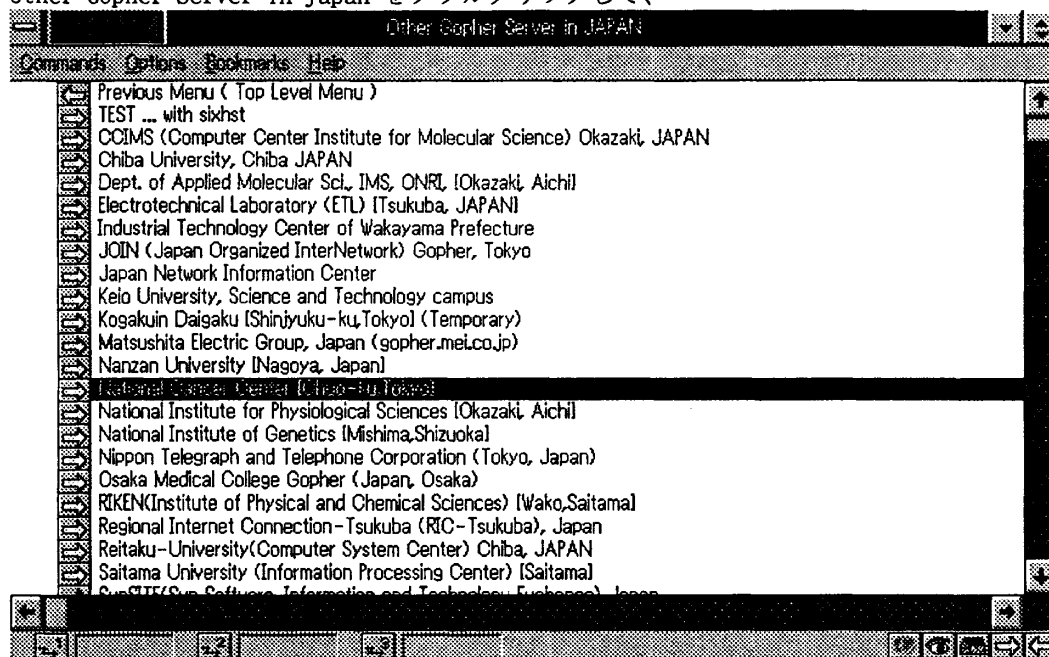
きちんと Viewer のセットアップができていれば、こんな画面が見れます。
ここまでいけばあとはもう、なんでもできます。

3. いよいよ gopher の世界に旅立ちです。

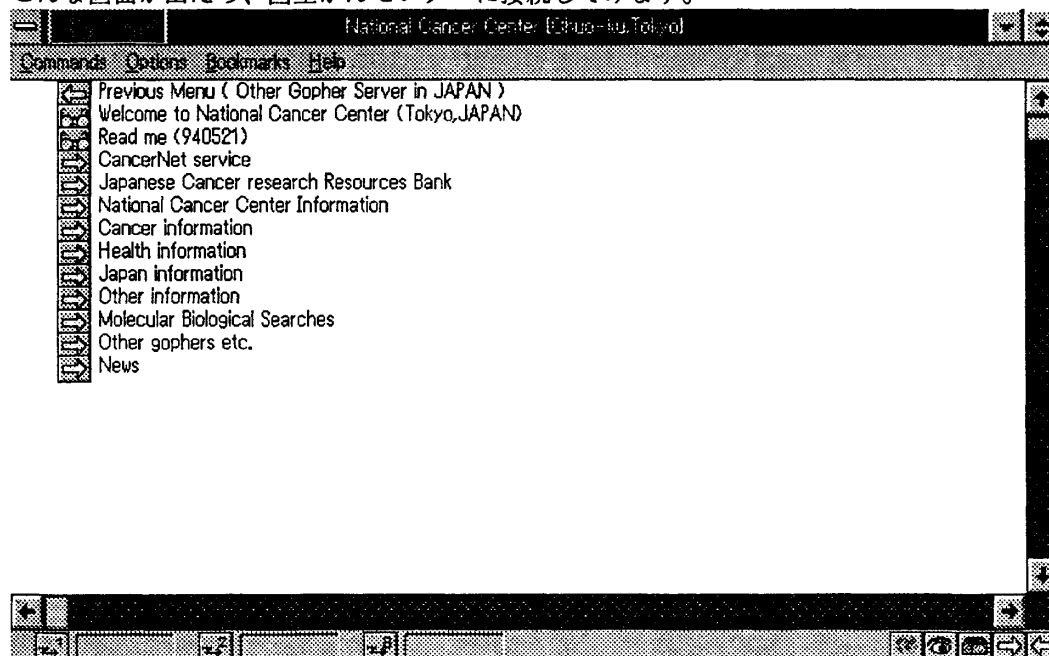
hgopher の使い方に少し慣れましたので早速 owani から外へ出てみます。



Other Gopher Server in Japan をダブルクリックして、



こんな画面が出たら、国立がんセンターに接続してみます。



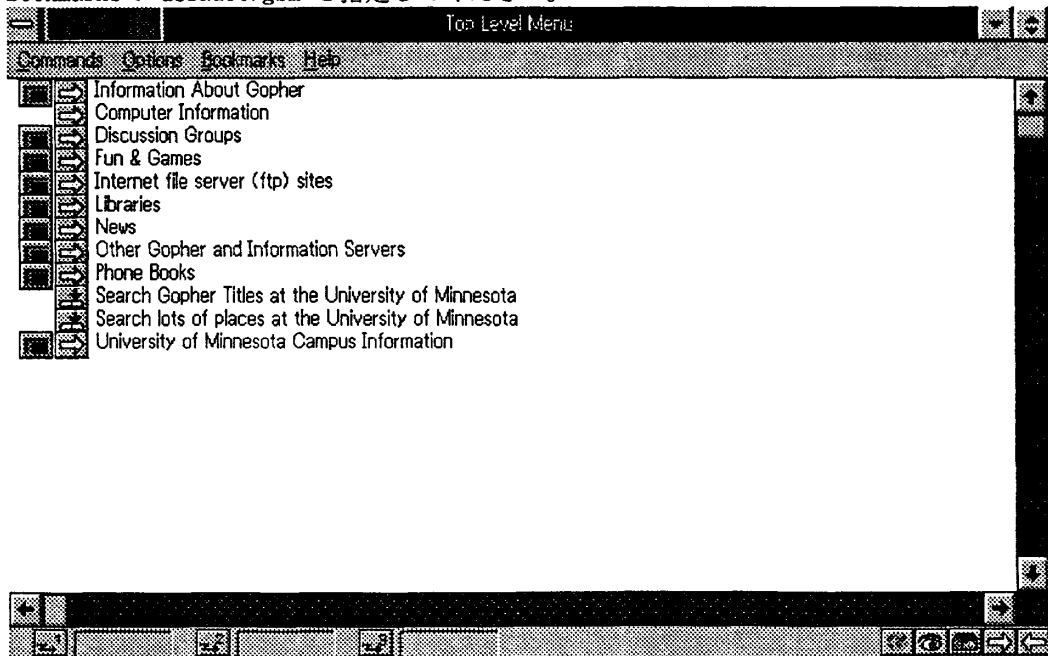
こんな画面が出力したらもうがんセンターに接続したということです。

ここからも他の gopher server へ接続することができますが、がんセンターにいて



こんな画面を出力できるようになれば、もうどこへ出かけて行っても大丈夫でしょう。
 ちょろちょろ動き回れるようになったので、故郷ミネソタの家へ行ってみましょう。

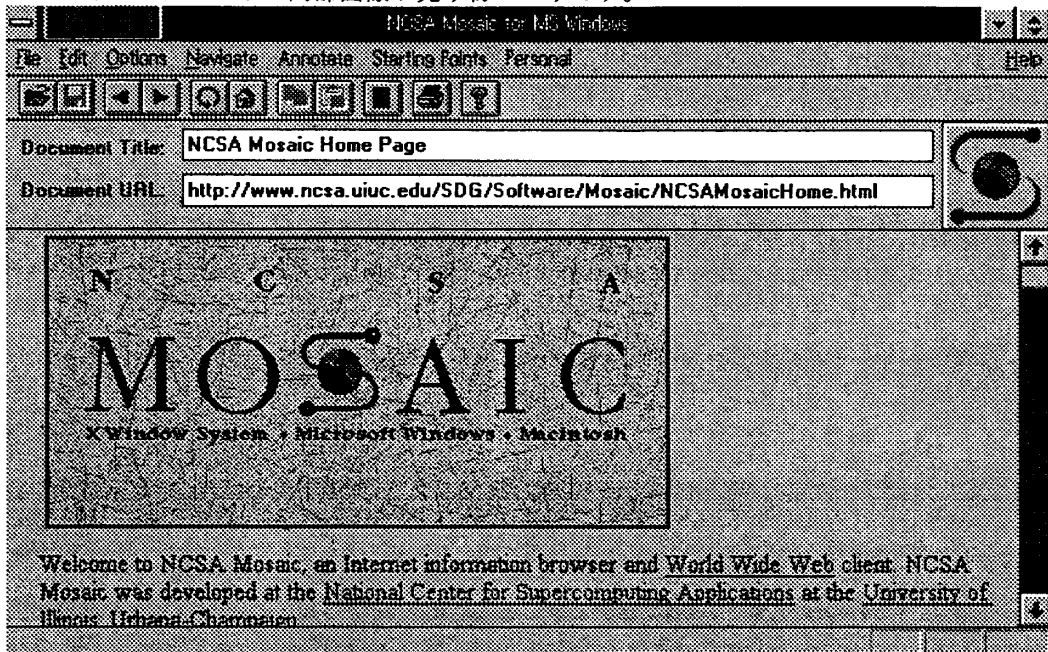
Options の Gopher Set Up で `gopher.micro.umn.edu` を設定するか、Bookmarks の Load Bookmarksで `default.gbm` を指定してください。



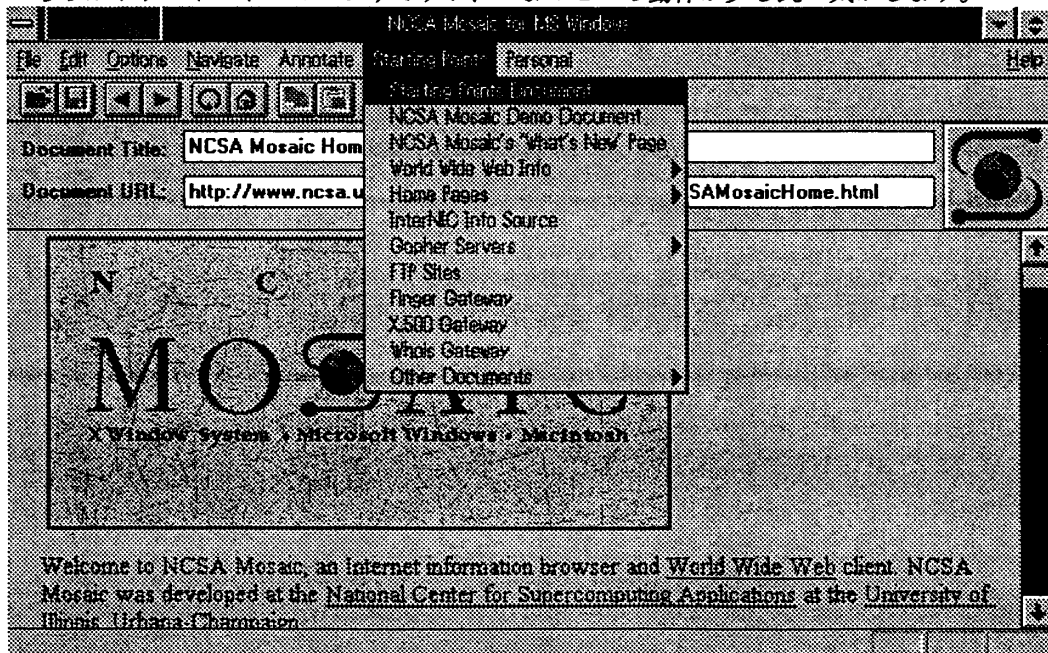
さすがに豪邸のようですね。少し部屋の中を見回して早めに引き返しましょう。
 なにしろ国際回線を使っていますから。
 ファイルのダウンロードとかは、すぐに慣れると思いますのでここでは触れませんでした。

4. もう1クラス上の gopher ?

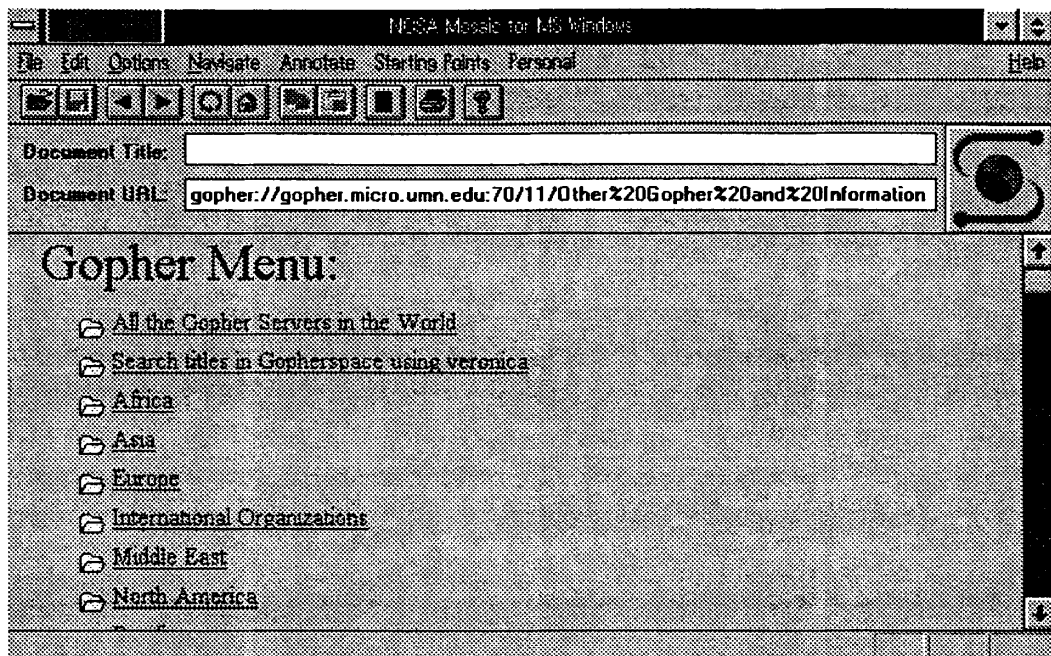
www の mosaic という別のシステムでも gopher ができるようです。このシステムはハイパーテキストと内部画像が売り物のようです。



こちらはイリノイのネズミのようですが、いまのところ動作が少し鈍い気がします。



Starting Points を Gopher Servers にすると



同じように世界中の gopher server に接続できるそうですね。

以上 簡単に gopher の使い方を紹介しましたが、いままでの unix の世界で telnet だ、ftp だ、finger だといったことが簡単にパソコンでできるようになりました。24 時間営業年中無休の internet にどうぞ触れてみてください。